

線路上作業における墜落制止用器具取付器

レールスタツザ

労働安全衛生法改正により2019年2月1日から安全帯の規格が変更となり、フルハーネス型安全帯が義務化

2022年1月2日から旧規格品の販売・着用が禁止

【レールスタツザの特長等】

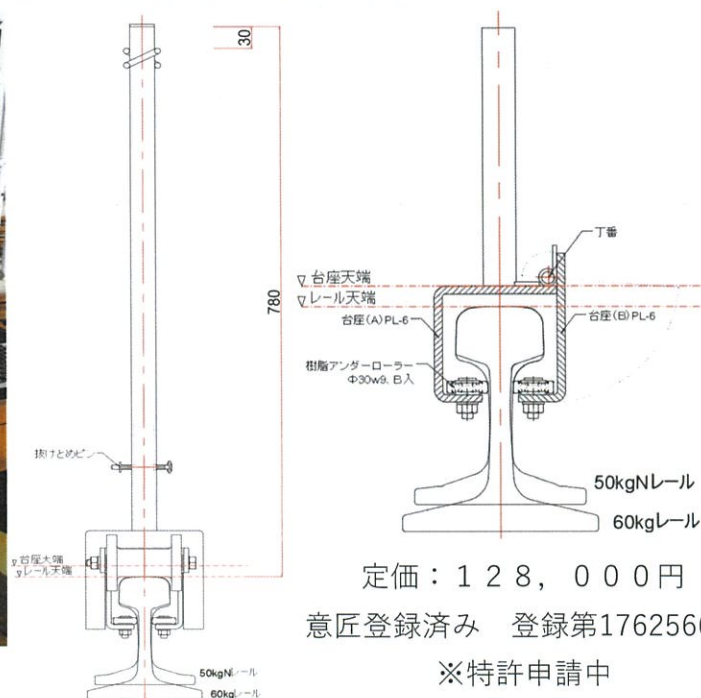
- ・ レール近辺の高所作業時に容易にレール上に取り付けることが可能
- ・ 50N・60Kレールにそのまま取り付け可能
- ・ 作業移動時はレール滑走ローラとサイドローラ・アンダーローラで円滑な作業
- ・ 墜落制止用器具を取付ける【支柱部（2.2kg）】とレールに取付ける【台座部（4.8kg）】の軽量セパレート構造（合計重量7.0kg）
- ・ レールスタツザは転倒しても短絡が生じない全長900mm
- ・ 支柱部のフック掛けは引張と圧縮強度を取入れた安全で使い易い改良金具
- ・ クッションアブソーバは第一種用（自由落下1.8m、衝撃荷重4kN）
- ・ 不慮の墜落時は厚さ6mmの台座部プレートと支柱部の開止めプレートでがっちりガード
- ・ フルハーネスLL寸（体重130kg）対応・・・（150kgの落下試験で安全を確認）
- ・ 台座プレート、支柱、コネクタ、コネクタ取付金具は強度確認済み

【レールスタツザの点検・保守・管理】

- ・ 墜落制止用器具の日常点検・定期点検に合わせ本スタツザも点検を行って下さい。点検箇所・方法については添付の取扱説明書に従ってください。また、保守・管理についても同様に行い、一度衝撃を加えたスタツザは使用を取りやめてください。

【レールスタツザの取付方法】

- ① 台座部のプレートを開きレールに乗せ、開いたプレートを閉める。
- ② 台座に支柱を立て、抜け止めピンを差しリングを掛けてロックする。



定価：128,000円

意匠登録済み 登録第1762566号

※特許申請中

レールスタツザ取扱説明書

各部位の案内

【支柱部】

- 支柱、樹脂キャップ、フック掛けボルト、抜け止めピン（チェーン共）、開止めプレート

【台座部】

- 台座、台座プレート、丁番、支柱受、滑走ローラー、滑走ローラー受金具、アンダーローラー

点検箇所・方法

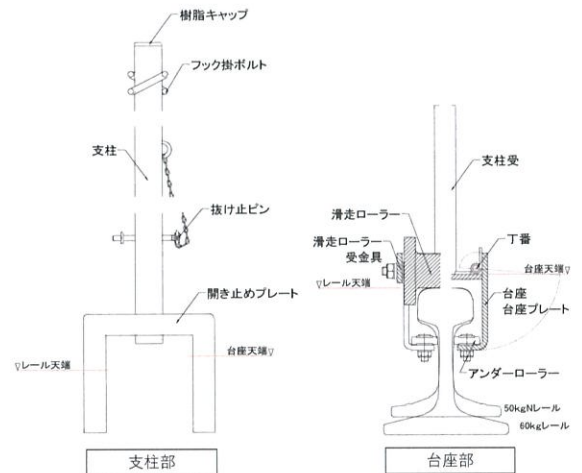
- 点検箇所は、作業効率向上を目的とする部分（ローラー類と受け金具）と墜落時に働く部分に分かれる。

〔作業効率向上を目的とする部分〕

- 目視、触手で円滑な操作性を確認する。
- 摩耗・破損のある個所は部品を交換してください。

〔墜落時に働く部分〕

- 支柱に変形や発錆・亀裂・欠損の有無を目視で確認。特に塗膜に浮きが発生した時は、塗膜下に目視では確認できない発錆が有る為使用を取りやめる。また部品の中で寿命が最も短いため支柱内部の発錆や溶接個所の亀裂・剥がれについても確認を行う。
- フック掛けボルトに変形や発錆・亀裂・欠損の有無を目視で確認。ボルト溶接付近の支柱が変形していないか確認する。
- 抜け止めピン・ピン穴に変形や発錆・亀裂・欠損の有無、リングに緩みがないか目視で確認。
- 開止めプレートに変形や発錆・亀裂・欠損の有無を目視で確認。溶接付近の支柱が変形していないか確認する。
- 台座に変形や発錆・亀裂・欠損の有無を目視で確認。
- 台座プレートに変形や発錆・亀裂・欠損の有無を目視で確認。
- 丁番に変形や発錆・亀裂・欠損の有無、溶接個所の欠損を目視で確認。
- 支柱受に変形や発錆・亀裂・欠損の有無、溶接個所の欠損を目視で確認。



保守

- 作業効率向上を目的とする部分の交換・取替はユーザーに一任しますがその結果から発生する不具合は製造物責任者の責任範囲から除外します。
- 本製品は鉄製の為、雨天等の使用後は乾いた布等で水分を拭き取り、乾燥させ錆止めの油を薄く塗ってください。
- 回転部は定期的に注油すること。砂や泥等が付いている場合はよく掃除し取り除くこと。

管理

- 本製品は、湿気の無い所・腐食性物質、火気、放熱体等が近くにない所に保管してください。

※ 〔墜落時に働く部分〕の不備又は、一度衝撃を加えたものは使用を取りやめてください。